

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本冶金工業株式会社（証券コード:5480）

【見直し変更】

長期発行体格付 **BBB+**
格付の見直し **ポジティブ → 安定的**

【据置】

債券格付 **BBB+**

■格付事由

- ステンレス鋼専業メーカー大手。25年8月に創業100周年を迎える。ニッケル系ステンレス鋼板に特化し、主原料であるニッケルの製錬から製造、加工までの一貫した生産体制を構築している。国内のニッケル系ステンレス鋼板の一貫メーカーは再編によって当社と日本製鉄の2社に集約されており、当社は同社に次ぐプレゼンスを有する。建設向け中心の一般的なステンレス鋼のほか、高耐食性、耐熱性などの特徴を持つ高機能材を手掛け、環境・エネルギー関連やシーズヒータ材などに採用されている。
- 利益水準は従前のJCRの想定よりも低位にとどまる見直しである。一般材は一定のロールマージンを確保できているが、国内市場で輸入材が増加しており、販売数量が弱含んでいる。高機能材は成長市場であるインドでの基盤強化に努めているが、好採算の中国での太陽光発電関連需要が落ち込んでいる。他方、財務体質は健全で、現状程度の財務構成を維持できると想定される。以上により、格付は据え置きとするが、見直しをポジティブから安定的に変更した。
- 26/3期の会社計画の経常利益は130億円（同19.8%減）と、過去数年の水準より低位となる見直しである。ニッケル市況の下落に伴う販売価格の低下、太陽光関連の販売減による高機能材の製品構成の悪化が継続する。ただ、7月には中国、台湾産のニッケル系ステンレス鋼板などに対して、国のアンチダンピング調査が開始された。今後の輸入が抑制され、一般材の数量面で当社にプラスに働く可能性がある。また、今般開設したインドの現地法人を通じ、同国での火力発電所向けや中東でのオイル・ガス関連需要の獲得増も期待できる。
- 25/3期末の自己資本比率は44.3%、DERは0.8倍である。利益の資本蓄積が進み、財務体質は数年前に比べて改善している。近年は年間100億円前後の設備投資を実施しており、今後も老朽設備の更新を中心に同程度の投資が続く可能性がある。引き続き、安定した財務基盤が保たれると想定されるが、財務の改善ピッチは緩やかになると見込まれる。

（担当）水川 雅義・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：日本冶金工業株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	BBB+	安定的

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2021年12月3日	2028年12月1日	0.700%	BBB+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025年8月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「鉄鋼」(2022年6月15日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本冶金工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル